大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

News Letter Express

VOL.60

2020年10月

目　次	P
まちづくり大学一般公開講座ほか	1
しみんのちから登録団体紹介	1
新コロナと市民活動団体へのアンケート結果ほか	2
熟年大学９月から再開しましたほか	3
情報ステーション	4

まちづくり大学一般公開講座「ＳＤＧｓって何？」

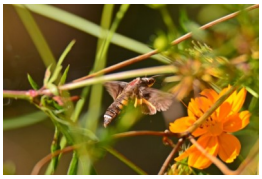
新型コロナウイルスの影響でまちづくり大学の第16期は中止になりましたが、一般公開講座を9月19日㈯SAYAKAホール大会議室で開催しました。本日の講師は大阪大谷大学の岡本克樹教授でこのテーマについてのご講演も40回を超えるとのことです。
最近目にする機会が多いキーワードですが、まだ日本では理解が不足しています。より包括的で正確な理解が必要とのお話でした。SDGｓは2015年9月第70回国連総会でMDGsの後継として採択された国際目標「Sustainable　Development」です。持続可能な発展のためには、自国だけでなく地球規模の課題を解決する必要があります。気候変動や感染症等の越境課題、ジェンダーや格差等の各国の共通課題です。
17の目標課題がありますが、沢山の目標で覚えられないとの声を聞きます。
要は、SDGｓとは①貧困をなくす②つづかない地球をつづかせるために開発の社会・経済・環境の3局面、これらを支える基盤づくりにバランスよく取り組もうという計画です。今後の市民活動として何をすべきか考えさせられる講演会でした。

「しみんのちから」登録団体NO.48　南大阪サポートネット

様々な人権擁護を推進する活動団体として2001年に設立されました。現在の活動としては「生きづらさに寄り添う」ことを軸として、社会との繋がりづらさを抱えている若者へのサポート「ひきこもりの自立支援」に取り組んでいます。

活動拠点「To-Villa（トビラ）」も４年目となり私たちが理想とする、地域みんなで支え合う包摂的な支援を実現するために関わりを持ってくださる方も増えてきました。これからもファーストステップの様々な機会を作るとともに、「家族会」の開催や「ピアサポーターの養成」また、ひきこもりの実態把握をすすめ情報をシェアしながら、当事者の孤立を減らしたり社会の偏見を払拭するための広報活動もしていきます。トビラは「食」を通して繋がりを作る「地域食堂」として居場所を開いていますのでお気軽にお立ち寄りください。
問い合わせ：080-4970-1179（浜治）

陶器山の自然



ホウジャクスカシバ

情報提供
あまの街道と
陶器山の自然を守る会

新型コロナウイルスと市民活動団体へのアンケート結果

新型コロナウイルス感染拡大による影響が様々な形で発生しています。大阪狭山市内を中心として活動されている団体が、この新型コロナウイルス感染拡大によりどのような影響を受け、どのような支援を必要としているのか、市民活動支援センターでは「しみんのちから登録団体」を対象に45団体に緊急アンケートを実施しました。（2020年6月6日～6月16日、回答33団体）
「活動内容」においては「影響が出ている」「今後影響がある」と回答があったのは78%で、具体的には
★行事・会合等が中止になり不安である
★学習、話し合いなどの例会を開く貸室がない
★一部の事業を休止、縮小したため、事業収益が減少したなどがありました。
「団体運営」においては「影響が出ている」「今後影響がある」と回答があったのは74%で、具体的には
★各種行事の中止により、運営と予算執行ができない
★会議や総会の見直しにより、メンバーがコミュニケーション不足になっている
★来年度の計画が立たない　などがあげられていました。

ちらしの作り方マル秘講座

8月29日㈯ 当支援センター主催で、ちらしの作り方マル秘講座を市役所南館講堂にて開催しました。新型コロナウイルスの対策のため通常の定員の半分に制限しての開催になりました。講師の林雅子さんは株式会社アローコーポレーション制作部で活躍されているかたで、帝塚山学院大学の紹介により実現したものです。チラシの作成のポイントはコピー・イラストの収集や、ラフに基づきデザインを作成することが大事なこと、最初は粗組で進め、その後色やフォントなど微調整してすすめるとのことです。それから出来上がりのデザインイメージを決め、作業で迷わないための情報整理（ラフを描くこと）がもっとも重要だということです。
今回の受講者は90%が女性の方で講演中の質疑も活発でした。

シニアの歌声広場　１５周年

2月29日㈯ SAYAKAホールのコンベンションホールでグローバルスクールが主催して開かれました。
開催については新型コロナウイルスの問題で悩まれたようです。オープニングは「どこかで春が」「早春賦」「花の街」「雪の降る町を」を全員で合唱しました。友情出演の団体ではどんぐり音楽隊の皆さんによる「コンドルは飛んで行く」「名探偵コナンの栄光の架け橋」など、木曜カルテットのメンバーによるクラシックギター4重奏のカノンの演奏や三線の独奏もありました。先生がたによるピアノ演奏や独唱もあり、そのあとは懐かしい昭和の歌謡曲の合唱と戦前・戦後にヒットした流行歌をみんなで合唱し、フィナーレでは「故郷」「上を向いて歩こう」を歌い、最後に「今日の日はさようなら」で終了しました。
15年も続けている活動に敬意を表します。

熟年大学は９月から再開しました

8月20日㈭ 新型コロナウイルス対策のため3月から休講していた熟年大学の一般公開講座が半年ぶりに開かれました。入場者への検温と会場が密にならない席のレイアウトなど工夫されていました。当日の講師は相愛大学人文学部客員教授の前垣和義さんで「大阪のおばちゃんという文化」のテーマで話を聞きました。おしゃべり力、おせっかい力から学ぶという事で元気な大阪の女性の話でした。大阪のおばちゃんをはまんまるで、暖かく柔らかくそして、中には心をギュッとつかむ、たこの入った「たこ焼き」と同じ、さらに豚まんとも同じ。おばちゃんも、豚まんも「日本の常識にしなくは」との思いが語られました。
次回から毎月1回の公開講座が開催されていきます。

大阪コロナ追跡システム

新型コロナウイルス感染拡大の抑制と社会経済活動の維持の両立を図るため、登録者が陽性と判明した場合に、接触した可能性のある人を追跡することができるものです。
■利用手順
①施設に掲示のQRコードを読み取り、メールアドレスを登録
②同じ日に施設で登録をした人が、後日、新型コロナウイルスに感染していたことが判明した場合、大阪府から利用者にメールで注意喚起
※クラスターが発生した際は、発生したと考えられる日の施設利用者に連絡します。
【施設（店舗）運営者・イベント主催者の導入手順】
■対象
飲食店（居酒屋を含む）、料理店、喫茶店など大阪府による休止・自粛要請（４月14日～）の対象施設、劇場等、集会・展示施設やイベントなど
■導入手順
①申請ページにアクセスし、QRコード発行の登録申請
②自動返信メールに添付のQRコードを印刷
③ QRコードを施設などに掲示
問い合わせ　大阪コロナ追跡システムコールセンター
☎06-4397-3354
詳しくは、大阪府ホームページをご覧ください

支援センターにおける新型コロナウイルスの対応について

新型コロナウィルス感染対策として、現在市民活動支援センターでは以下のような対応をとらせていただいています。
①来所の際にはマスクの着用と手指の消毒をお願いします。
②会議室の使用について
・定員を以下のように制限しています。
ミーティングルーム１→10人
ミーティングルーム2→　4人（整備完了後）
ミーティングルーム3→　6人
ミーティングスペース→　2人
・使用前後に室内のテーブルなど、手が触れるところの消毒をお願いします。
・参加者全員の名簿の提出をお願いします。
③ワークステーションの使用について
・印刷等の作業は原則としてお一人でお願いします。
・他の団体の使用中は室外でお待ちいただくこともあります。
以上、皆さまにはご不便をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。

情報ステーション

大判プリンター利用講習会のお知らせ

●日　時：10月11日㈰　午後2時～4時
●場　所：市役所南館2階　市民活動支援センター
　　のミーティングルーム１
●対　象：市内で活動する市民活動団体関係者
●内　容：大判のインクジェットプリンターを使って
　　ポスター、横断幕、のぼり、写真等を印刷
　　する方法の講習会です
●参加費：無料（材料費は実費）
●定　員：10人（先着順）見学だけも可
●持ちもの：出力するためのデータを保存した
　　USBメモリー
●申し込み：10月9日㈮　午後５時までにFAXかメールで参加者の名前・電話番号・メールアドレスを明記の上当支援センター　FAX:366－4664　へ
電子メールの場合は
soumu@osakasayamasc.onmicrosoft.com
支援センターホームページからも申し込みできます。
http://osakasayama-sc.jp
●問合せ
市民活動支援センター
電話：366－4664

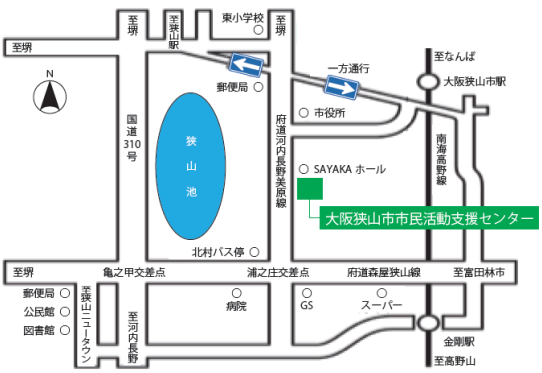
市民公益活動促進基金に寄附を

市民公益活動促進基金は、市民と行政が協働し市民の公益活動を支援するための資金を積み立てる制度です。
市民の皆さんからいただいた寄附金と同額を市が上積みすることで寄附金の2倍の額が基金に積み立てられます。
【寄附の方法】
●「大阪狭山市市民公益活動促進基金寄附金申出書」にご記入の上、寄附金と合わせて 直接市役所へお持ちください。
（受付は、平日の午前9時から午後5時30分まで）
●ご寄附いただいた方のお名前と寄附金額を「広報おおさかさやま」で公表しています。
（詳しくは市ホームページをご覧ください）

みなさんの活動・情報をこの紙面で

皆さまの情報の提供をおねがいします。
E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp
FAX：366-4664

大阪狭山市市民活動支援センター
News Letter Express
発行責任者：橋本　巌
編集責任者：早野　秀夫
〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5
☎・Fax：072-366-4664
E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp
http://osakasayama-sc.jp/



編集後記

新型コロナウィルス感染症のために、会えない人、できないことが多く、いつまで今のような制限付きの生活が続くのかも分からないという日々です。
先の見えない感染症ですが、この半年ほどの間に分かってきたこともあります。その一つがマスクの効果です。感染が広がり始めたころ、マスクには感染防止の効果はないと言われていました。今でも感染防止効果については不明ですが、少なくとも他者に感染させない効果はあることがわかってきました。マスクをする目的が、自分がうつらないことから人にうつさないことに変わってきたということです。『私のマスクがあなたを守り、あなたのマスクが私を守る』ネットで見つけたメッセージです。自分の感染を恐れて行動すれば、他者の行動を糾弾する方向に行きやすいですが、「私のため」ではなく「あなたのため」にとお互いが考えれば、少し広い気持ちになれます。フィジカルには距離をとれと言われますが、メンタルには人と繋がることがこのパンデミックを制御する道なのかもしれません。（N）